



2015.5.10 マリア祭

### 信仰の模範——聖母マリア

助任司祭 楊成源神父

カトリック教会では聖母マリアへの崇敬が篤く、年間を通してマリアのための祭日を幾度も祝いま  
す。特に毎年、5月と10月は聖母マリアの月と定め  
られています。聖母マリアの生き方の基本は、どの  
ようなことがあっても、神を信じ、神に従って生き  
るということです。聖書によると、神はマリアを選  
び、聖霊によって身ごもり、やがて男の子を産み、  
その子がイエス・キリストであると、天使ガブリエル  
を通じてお伝えになった時、マリアは驚き、不安を  
感じました。しかし、これが神の恵みであり、ま  
た、神の救いの計画であると信じ、そして、謙遜を  
持って「私は主のはしためです。お言葉どおり、こ  
の身になりますように」(ルカ1・38)と答えまし  
た。マリアは神を信頼したので、すぐ「はい」と答  
えました。これはマリアの信仰です。

聖母マリアは一生涯の間に、神のみ旨に従って、  
さらに、十字架上で亡くなったイエス・キリストと共  
に苦しみを受け、イエス・キリストによる人類の救  
いの中で、重要な役割も果たしました。それゆえ、  
カトリック教会はイエス・キリストを礼拝する時、  
マリアを人類の母として崇敬しています。また、マ  
リアは人類の母であるだけではなく、神の母でもあ  
ります。聖母マリアの信仰は教会の模範ですので、  
カトリック教会はマリアを特別に崇敬しています。  
したがって、この聖母マリアの月の中で、私たちは  
マリアの信仰を深く理解したり、私たちの信仰も強  
めたりすることができると思います。

#### 平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時  
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)  
火曜日 午後7時  
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時

#### 主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ後、聖体礼拝)  
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時  
Sunday Mass in English 9:30 am  
(in the Marian Hall)  
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

## 洗礼式を終えて

モニカ 安藤 えり子

大学時代に宗教学に関わる事でカトリック教会の歴史を学び興味を抱きました。

昨春、娘がカトリックの学校に入学し夏休みの課題で南山教会へ訪れる事になり私自身も同行しました。そこで初めて南山教会の聖堂、神父様のお話を聞きキリスト教に触れたい思いが膨らみました。

勉強会、ミサに参加し神父様に入門の許しを得た時は嬉しく思いました。良き洗礼名を下さった神父様に感謝しております。

志願式、洗礼式が近づくに連れ、喜びの半面、何とも言えない感情が湧き、当日は感度の涙が抑えきれず新しい第一歩を踏み出す日となりました。

これからは、日々の言動に感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたいと思っております。

マリア・ローザ 大島 早紀子

桜の花が咲き小雨が降るなか行われた南山教会での洗礼式で、この度私は神さまの導きにより洗礼を受けることができました。私のために心をつくしてくださった

多くの方々や神さまのことを思い、自然と感謝の気持ちでいっぱいになり式のあいだ何度も泣きさうになりました。このお恵みをくださった神さまと共に人生を歩んでいけるように、どんな時でも信仰を持ち、心つくして生きて行きたいと思っております。

## 「家庭の召命と使命」意見募集中

今年「シノドスのテーマ」「家庭の召命と使命」について、信徒の意見が求められています。以下の①②③④⑤の「～」の問いに対してご意見があれば、ご意見を書いた紙を教会事務にご提出ください。期日は、6月30日です。

①「家庭」の問題は、いわゆる評論家のような姿勢を私たちに赦してくれません。私たち信徒の今日の生活の是非が直に問われるからです。それでも世界代表司教会議（シノドス）は、家庭こそが神の国の為の社会福音化の主体であり「家庭の福音」を告げ知らせることが新しい福音化の緊急課題であると述べます。  
②「家庭を福音化するには、どのようなことが考えられるでしょうか。」

「家庭の召命と使命」意見募集中  
による事実婚などです。結婚の契約に基づく家族の絆と制度は、自己中心的な個人主義の嵐のなかで、今、風前の灯と言えなくもありません。  
③「このような社会状況の中で夫婦の絆を忠実に守りたい信徒を支え強めるにはどうしたらよいでしょうか。」

②「家庭制度の危機を告げる沢山の兆候が、日本はじめ先進諸国に顕著です。夫婦の絆に結ばれ、子供を産むことに開かれているという家族観を拒否して、子育てや高齢者の存在を重荷と感じる家庭の変質、構成員の孤立化、制度や制約への反感、貧困  
③「信仰の中で受け継がれてきた啓示により教会は「家庭の福音」を宣言します。結婚と家庭は聖性への召命であり、キリストによつて贖われた真の愛がほとぼり出る神祕です。聖三位一体の神の像に回復された夫婦相互の愛は、霊の賜物を受けて聖性への召命を生き、キリストの身体を形作ると教えます。夫婦は、完全な献身による命と愛の共同体であり、相互の一致、不消性、命へと開かれる神からの偉大な贈り物であり、人間の最も深い要求に応えるものです。神の救いの計画の中で、結婚と家庭は人間に制限ではなく充実をもたらし、その美しさを示すもので、世俗化された国々においてその必要が感じられる価値観の提起であると述べます。  
④「家庭が「家庭教会」としての自

2015.4.26 ヨセフ会全体集会



覚を持てるようになるにはどのようなにすればよいでしょうか)

④しかし、それには現実の家庭の弱さから出発する特別な配慮が必要です。「家庭の福音」は、その理想の価値を下げることなく、また現実問題から遊離することもなく、憐れみと忍耐をもって傷ついた壊れやすい家庭に寄り添うキリストの眼差しで伝えられなければなりません。  
(神の憐れみから誰一人として排除されていないことを理解して頂くには、どうしたらよいでしょうか。)

⑤家庭内で心と生活全体を満たす喜びを経験できなければなりません。「家庭の教会」の喜びに満ちたあかしと体験が必須です。夫婦間の赦しは、永遠で滅びることのない愛を経験させます。信仰共同体全体が結婚する人々の準備を熱心に行くとともに、続く結婚生活のための養成講座の提供と、信者家庭の生きたあかしによる同伴、共同体全体の人生経験に合わせる事が望ましいでしょう。  
(日本社会のもつ家族主義の伝統を前向きに評価する必要があるでしょうか)



2015.5.10 マリア祭

## スカウトバザー

日時：6月14日（日） 9時半のミサ後一午後2時

場所：カトリック南山教会

内容：模擬店・喫茶・委託品・缶詰・手芸品・掘出市 等



名古屋第97団

## カトリック教会のカテキズムより

1398 エウカリスチアおよびキリスト者の一致。

この神秘の偉大さを前にして、聖アウグスチヌスは「ああ、何とすばらしい敬神の秘跡、何と崇高な一致のしるし、何と尊い愛のきずな！」と叫んでいます。そのことを考えると、主の食卓をともにすることを妨げる教会の分裂は大きな悲しみをもたらします。だから、主を信じるすべての人の完全な一致の日が再び訪れるようキリストに祈ることが、緊急に求められているのです。

## 6. 婚姻の秘跡

## 結婚問題の最も基本的な原因である利己心

創世記の創造の物語の中でアダムとエバの關係は、不思議な表現で描かれています。「人と妻は二人とも裸であったが、恥ずかしがりはしなかった。」(創2・25)しかし、二人は神に背いて、罪を犯した後に、「二人の目は開け、自分たちが裸であることを知り、二人はいちじくの葉をつづり合わせ、腰を覆うものとした。」(創3・7)と書き記されています。教皇ヨハネ・パウロ2世は、このことを次のように説明してくださいました。まず、人間が「恥ずかしくなる」のは、誰かが自分にとって危険であると感じているときです。すなわち、「羞恥心」という感情は、人間が神からいただいた自己防衛機制の一つの重要な機能であるということなのです。罪を犯す前の人間が裸であっても、「恥ずかしがりはしなかった」のは、互い



に危険なものになっていなくなつたからです。しかし、罪を犯した後には、相手において危険性を見出したから恥ずかしくなつて、自分を守るために恥ずかしうと思つたところをいちじくの葉で隠したということなのです。このような物語によつて聖書が教えるのは、罪を犯す前に愛の対象であつた他者、つまり、全力を尽くして自分が守りたい、また、支えたいと思われた他者は、自分のために利用したいと思われれるものになつてしまつたということなのです。言い換えれば、原罪の一つの結果として人間は、自分自身と他人の本質、自分の価値と尊厳を知らないようになり、互いに愛し合ひ、協力する代わりに、他者の苦しみに対して無関心になつたり、争つたり、利用したりするようになったということです。

イエス・キリストは、この問題について山上の説教の中で次のように語られました。「あなたがたも聞いておるとおり、『姦淫するな』と命じられておつたが、わたしは言つておつたが、みだらな思いで他人の妻を満たすために、この人をどこまでも利用することができるといふ目でこの人を見ています。その女を犯したのである。」(マタ5・27-28)このようにイエスが教えておられるのは、人間の根本的な問題とは、不正な行いではなく、内面的な不秩序、たとえば、人間が持つてい

見る者はだれでも、既に心の中

でその女を犯したのである。」

善を求めている欲望などのよう

なことであるということなので

す。というのは、「みだらな思

いで」他人を見ることは、狭い

意味で、自分の性欲を満たすた

めに他者を利用することです

が、広い意味では、他の人を愛

すべき人間として見るのではな

く、自分の楽しみや満足、ま

た、経済的、または、他の利益

のために利用するために可能な

「もの」として見ることなので

す。不正な行いは大きな問題で

あつても、このような内面的な

問題を表面化するものにすぎな

いのです。

私たちは、殆どの場合意識し

ていないが、新しい人と出会う

ときに自分の必要性や欲望を基

準にして、この人は自分にとつ

てどれほど役に立つだろうか、

つまり、自分の必要性や欲望を

満たすために、この人をどこま

で利用することができるといふ

目でこの人を見ています。そ

の役には立たないと決めつけたら、

この人に対して興味も、関心も

生じないが、誰かがすこしでも

役に立つと思つたら、興味を

持つて、この人と関わりなが

ら、いろいろな方法を以てこの

人を調べ続けるのです。結果的

に、殆どの人間関係、(同じよ

うに人間の人間以外のものとの

関係)は、利己心に基づいてい

るといふことが言えると思いま

す。イエスの言葉(ルカ9・23、

25)を使えば、人はこのように

自分を生かすために、「世界を

自分のもの」にしようとしてい

ます。けれども、このような努

力が成功して、人間は「全世界

を手に入れた」、つまり、すべ

ての欲望を満たすことができな

くとしても、愛に生きることが

できれば、何の得にもならず、人

生に負けてしまうことにもなり

得るのです。

イエス・キリストは、この問題について山上の説教の中で次のように語られました。「あなたがたも聞いておるとおり、『姦淫するな』と命じられておつたが、わたしは言つておつたが、みだらな思いで他人の妻を満たすために、この人をどこまでも利用することができるといふ目でこの人を見ています。その女を犯したのである。」(マタ5・27-28)このようにイエスが教えておられるのは、人間の根本的な問題とは、不正な行いではなく、内面的な不秩序、たとえば、人間が持つてい

見る者はだれでも、既に心の中

でその女を犯したのである。」

善を求めている欲望などのよう

なことであるということなので

す。というのは、「みだらな思

いで」他人を見ることは、狭い

意味で、自分の性欲を満たすた

めに他者を利用することです

が、広い意味では、他の人を愛

すべき人間として見るのではな

く、自分の楽しみや満足、ま

た、経済的、または、他の利益

のために利用するために可能な

「もの」として見ることなので

す。不正な行いは大きな問題で

あつても、このような内面的な

問題を表面化するものにすぎな

いのです。

私たちは、殆どの場合意識し

ていないが、新しい人と出会う

ときに自分の必要性や欲望を基

準にして、この人は自分にとつ

てどれほど役に立つだろうか、

つまり、自分の必要性や欲望を

満たすために、この人をどこま

で利用することができるといふ

目でこの人を見ています。そ

の役には立たないと決めつけたら、

この人に対して興味も、関心も

生じないが、誰かがすこしでも

役に立つと思つたら、興味を

持つて、この人と関わりなが

ら、いろいろな方法を以てこの

人を調べ続けるのです。結果的

に、殆どの人間関係、(同じよ

うに人間の人間以外のものとの

関係)は、利己心に基づいてい

るといふことが言えると思いま

す。イエスの言葉(ルカ9・23、

25)を使えば、人はこのように

自分を生かすために、「世界を

自分のもの」にしようとしてい

ます。けれども、このような努

力が成功して、人間は「全世界

を手に入れた」、つまり、すべ

ての欲望を満たすことができな

くとしても、愛に生きることが

できれば、何の得にもならず、人

生に負けてしまうことにもなり

得るのです。

このような自己中心的な基準

に基づいて、二人の人が互いに

大きな興味を持つようになつ

て、つまり互いに好きになつ

て、つき合ひ、互いにいろいろな次

元において利用し合うことは、

一般的に「恋愛」と呼ばれてい



ます。この意味での恋愛関係は、自分たちにとって最高の幸福への道であると信じて、結婚する人も少なくないでしょう。けれども、結婚することによって、互いに愛を誓うつもりであつても、実際に、結婚という制度において自分を利用する許可を与え、相手を利用する許可をもらうということになるのではないかと思ひます。結婚によつて相手を自分のものにして、自由に、好きなだけ利用する権利を得たと思つて、これからいつでも、自分を生かすことができる(無意識の中でも)期待している人ががっかりし

て、「恋愛」の相手に関して無関心になる、それとも、この人を妬むように、また、憎むようになるのは、当然です。というのは、相互の合意があつても、基本的に眞の愛ではなく利己心に基づく結婚であるならば、愛の実践と違つて、二人を生かす結合ではなく、いろいろな問題を起す関係、二人の間としての成長を妨げる関係になるのです。多くの場合、このような関係は相互依存にもなつてしまひますので、他の依存と同じように、二人の心に深い傷を負わせ、破壊に導くものにもなり得るのです。ですから、このような動機に基づいて結婚は、創造主が定めた目的ではなく、別の方向、場合によつて正反対の方向に向かつているものになつても、不思議ではないでしょう。

人間は、他人において自分役立つものにしか興味がなく、誰かのことをより深く知るようにになるとこの人において自分に何の役にも立たないが、非常に素晴らしくて、優れた価値があると思ふ何か、しかも、自分が何の利益を得ることがなくとも、さらに、自分の損になつても、このような素晴らしいものを持つている人を守りたい、

この人において見だした素晴らしい可能性の発展を支えたいという望みが生じることは珍しくないでしょう。このような望みは、私たちが愛に生きるために創造してくださつた神の賜物、また、眞の愛への招きと言えらると思ひます。この招きに応えて、相手との関係にコミットメント、つまり自己奉獻して、結婚誓約を交わすことによつて眞の愛と忠実を尽くすことを誓う人も少なくないでしょう。けれども、残念ながら非常に多くの人は、この誓いによつて表現した望みに従つて生きるならば、自分の心の眞の望みに従つて生きることになり、最高の人生を送ることができるといふことを直感的に、または、理性的に知つていても、なかなか古い生き方から離れることができなくて、結婚誓約の言葉を守つて、愛するようになった人に仕える代わりに、この人を再び利用するようになることは頻繁に起こることなのです。

以上の聖書の教えをまとめ、カトリック教会のカテキズムには、次のように書かれていす。「すべての人は自分の周囲や自分のうちに悪を体験します。この体験はまた、男と女と

の間でも見られます。男女の結合はつねに、不和、支配欲、不忠実、しつと、憎悪や断絶に終わる衝突などの危険にさらされています。この無秩序は、大きなは多少の相違が見られたり、それぞれの文化、時代、個人などの努力による多少の解決がなされたりしているとはいへ、いづどこでも起こつている問題です。」(カトリック教会のカテキズム1606)

私たちは愛に生きるために、また、結婚した男女は結婚誓約に忠実に従つて、一生涯愛と忠実を尽くすことができるために、人間の心に非常に深く根ざしている利己心から解放される必要があります。何よりも、また、誰よりも自分の命、つまり自分自身のことを大切にしている利己心から解放された人だけが、神の心に適う結婚生活、または、人生そのものを送ること、しかも、消えることのない喜びと幸福に満たされた結婚生活と人生を送ることができます。それを可能にすることができ、創造主である神が遣わしてくださった主イエス・キリストの使命であつて、イエス・キリストが成し遂げてくださった救いのわざなのです。

(つづく)

司祭団より

5月10日

・12月25日17時満祈会(満月の日に  
お祈りをする会)の開催について  
50名ほどの団体がカトリック教  
会で祈りについて体験したいとの  
申し出あり。

9月以降にボクダン師と話を進  
めていく。南山教会各委員会に協  
力を求めたい。

・大聖堂に慈しみのイエスの絵を  
設置する。

・南山教会での挙式について、一  
部業者による規定に反する行為が  
多々見受けられるため、写真撮影  
等で規定を設け、署名を貰うこと  
を提案する。

・6月21日(日)9時半ミサは、  
当教会で助祭奉仕をしていたウイ  
リアム司祭の初ミサ。

報告・連絡事項

4月19日信徒協委員総会

・教区レベルでの活動案が話し合  
われた。  
・昨年度配布された「信徒使徒  
職」を進めるためのアンケートが  
集まり、結果が報告された。  
・今年のシノドスのテーマ「家庭  
の召命と使命」について、信徒の  
意見が求められている。ご意見の

2014年度決算報告書(2014.4.1~2015.3.31)

一般会計

〔収入の部〕

単位:円

科目	決算	予算
維持献金	17,209,895	20,000,000
ミサ献金	6,969,757	7,000,000
祭儀献金	2,910,000	5,000,000
永代祈祷料	10,782,000	2,500,000
その他献金収入	4,439,940	4,500,000
オルガン献金収入	4,180,000	0
<b>献金小計</b>	<b>46,491,592</b>	<b>39,000,000</b>
特別献金収入	1,436,536	1,000,000
受取利息	3,711	10,000
雑収入	48,307	20,000
<b>収入合計</b>	<b>47,980,146</b>	<b>40,030,000</b>

〔支出の部 続き〕

単位:円

科目	決算	予算
建物修理	44,822	2,000,000
オルガン修理	4,428,000	350,000
保守管理費	2,211,271	2,100,000
その他	0	0
<b>修繕費小計</b>	<b>6,684,093</b>	<b>4,450,000</b>
車両維持費	732,766	500,000
印刷費	955,284	1,000,000
事務用消耗品費	200,316	250,000
旅費交通費	180,000	400,000
通信費	1,611,041	1,600,000
消耗品費	518,088	700,000
水道光熱費	5,100,150	5,000,000
支払保険料	305,075	200,000
雑費	88,743	50,000
給料	5,287,760	5,500,000
雑給料	612,440	650,000
退職金	0	0
法定福利費	804,402	1,000,000
<b>人件費小計</b>	<b>6,704,602</b>	<b>7,150,000</b>
自己教会への支出	0	0
<b>支出合計</b>	<b>35,876,566</b>	<b>34,890,000</b>

消費収支差額	12,103,580	5,140,000
--------	------------	-----------

〔支出の部〕

科目	決算	予算
典礼書購入	545,473	350,000
聖具補充	73,020	150,000
花・ろうそく・ホスチア	467,466	500,000
<b>儀典費小計</b>	<b>1,085,959</b>	<b>1,000,000</b>
復活祭	89,286	90,000
堅信式	55,147	60,000
敬老の日	167,401	150,000
クリスマス	-1,567	50,000
成人式	19,763	20,000
諸行事	211,831	100,000
<b>集会費小計</b>	<b>541,861</b>	<b>470,000</b>
宣教司牧費	944,225	700,000
墓地費	10,000	20,000
黙想会費	50,000	30,000
教区分担金	2,583,137	2,500,000
宣司評分担金	258,314	250,000
神学院助成金	500,000	500,000
その他寄付金	597,755	1,200,000
<b>寄付金小計</b>	<b>1,097,755</b>	<b>1,700,000</b>
運営委員会	0	20,000
典礼委員会	26,655	80,000
広報委員会	-17,500	450,000
典礼奉仕者の会	118,129	120,000
大樹の会	12,072	30,000
ヨセフ会	40,303	70,000
マリア会	39,848	100,000
青年会	30,109	50,000
中・高生会	208,918	400,000
中・高生父母の会	24,125	50,000
教会学校	404,825	600,000
教会学校保護者会	0	0
子ども部屋	45,433	50,000
レジオマリエ	0	0
ボーイスカウト	230,000	230,000
信徒協	5,000	10,000
南山手話の会	20,386	50,000
要約筆記者の会	19,989	20,000
英語ミサ	35,865	30,000
納骨堂委員会	184,464	200,000
<b>諸活動費小計</b>	<b>1,428,621</b>	<b>2,560,000</b>
司祭活動補助費	3,360,000	3,360,000
特別献金支出	1,436,536	1,000,000

平成27年5月3日

以上の通り、ご報告致します。  
財務委員長 伊藤恭輔

監査の結果、公正かつ適正に  
処理されていることを認めます。  
監事 公認会計士 坂浦正輝

ある方は、教会事務所へお届けいただきたい。教会事務所で集約し、教区へ届ける。(P23参照)  
 ・松浦司教講演会開催の案内があった。

**4月26日ヨセフ会全体集会**

・参加者は30名ほど。内容は昨年度の活動内容と今年度の活動予定が報告された。

・今回は2名が新たに案内係の活動メンバーに入られた。

**4月29日宣教司牧評議会総会**

・それぞれの委員会の活動報告や、収支計算、15年度活動計画等の報告がなされた。

・資料は事務所の運営委員会の棚に保管。興味ある方は閲覧可能。

**審議・相談事項**

**2014年度会計報告**

・会計監査は終了、問題なし。

・収入…47,980,146円

支出…35,876,566円

・決算報告書は別途月報に記載。

**5月10日インターナショナルミサ**

・ヨセフ会が会場設営、マリア会がパーテーターを担当。準備完了。

**5月24日教会美化とBBQ**

一日を教会で、老若男女、楽しく分かち合いをする。教会美化は草一本から始まる。多数参加いただきたい。

・美化エリアや担当区分はお知ら

せに挟まれる。掃除道具の有無を確認し、準備。

・BBQについて、ヨセフ会は食材準備。マリア会はあげ寿司を準備する。

・当日はわだち祭りがあるため、野菜等を含む食材準備は、マリア会・ヨセフ会双方でよく相談し、過不足の無いように決める。

**6月28日信徒全体集会**

・マリア会、ヨセフ会の会長、各委員会委員長の今年度の進め方等の準備についてお願いがあった。

・運営委員会の規定を確認。

・オルガン管理委員会について説明があった。

**その他**

・マリア館の中庭でのボール遊びについて、道路にボールが出て危ないので、日曜日だけ道路側にネットを張ることとした。

・バザーの時の踊りをベトナムにしてみようかという提案が出た。

・カトリック会館側から大聖堂への階段途中に設置されていた十字架用の照明支柱が腐食し危険なため撤去する。

**各会報告**

**典礼奉仕者の会**

・典礼奉仕者の会を6月14日(日)にマリア館ホールにて開催。時間は11時から12時までの予定。

・6月14日(日)9時半のミサ後午後1時半までスカウト

バザー開催。商品の寄付をお願いしたい。食券の購入もお願いしたい。

**中高生会**

・5月31日(日)楊神父様と一緒にボーリングへ。教会で昼食後出かける。16時頃南山解散。

**青年会**

・青年会を5月24日(日)から開催。

次回運営委員会は6月7日

**2014年度決算報告書(2014.4.1~2015.3.31)**

**売店会計(収益事業)**

科目	単位:円	
	決算	予算
物品売上収入	7,056,918	7,000,000
受取利息	115	0
雑収入	4,520	0
収入合計	7,061,553	7,000,000

科目	単位:円	
	決算	予算
事業原価	4,308,209	6,000,000
通信費	9,200	20,000
消耗品費	13,961	10,000
租税公課	74,486	120,000
旅費交通費	0	0
雑費	0	10,000
給与負担金	1,500,000	840,000
法人税住民税事業税	24,200	0
支出合計	5,930,056	7,000,000
消費収支差額	1,131,497	0

平成27年5月3日

以上の通り、ご報告致します。  
 財務委員長 伊藤恭輔

監査の結果、公正かつ適正に  
 処理されていることを認めます。  
 監事 公認会計士 坂浦正輝

# 南山句会

平成二十七年四月八日



風音のこもる聖堂受難節

春麗ら野の風やさし手弁当

四旬節あけて華やぐ修道院

桜咲きいつしか頬の暖みたり

聖堂に祈るは感謝復活祭

初桜仰ぎて城の坂登る

父植多し卒園記念の桜満つ

雪柳風になびくや舞ふごとく

夢語る合格せし子や長けて見ゆ

十字切り今を踏みしむ受難節

右近みち縷々と天まで花の雲

毎月第二水曜日午後一時半  
マリア館二階集会室

聖子 豊子 せつ子 美智子 牧子 眞喜子 紀子 とく子 公子 一藤 義子

## 信者の消息

### 受洗

おめでとうございます

マリア ブー・カン・リン

ヨセフ グエン・ダン・アイ

マリア・ベルナデッタ 成井 百合子

### 結婚

♡ お幸せに ♡

ルドビコ 西脇 望 ♡ 矢部 日奈子

### 転入

ようこそ

マリア・インマクラータ 澤田 香世 (府中教会)

フランシスコ・ザビエル 澤田 悠佑 (府中教会)

ジタ 山本 秀子 (東山台教会)

### 転出

いつまでもお元気で

マルガリタ・マリア 木村 裕子 (城北橋教会)

ペトロ 木村 淳一 (城北橋教会)

マリア 藤本 君子 (大名町教会)

使徒ヨハネ 倉重 款一 (瀬戸教会)

マリア 倉重 幸恵 (瀬戸教会)

テレジア 倉重 裕子 (瀬戸教会)

ルイ・マリア・ガリニョン・ド・モン 倉重 秀輝 (瀬戸教会)

### 教会維持費

4月は3.589.060円の維持費が納められました。有難うございました。

教会の維持・運営・宣教活動は、教会信者全員が毎月納める維持費によってまかなわれますので、よろしくお願ひします。

## 2015年5月 - 6月行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
5月	<b>聖母の月</b> 17(日)主の昇天 24(日)聖霊降臨の主日 31(日)三位一体の主日	(決算書の承認) 決算書提出 10(日)マリア祭の聖母行列(9:15)(母の日) 10(日)子どものミサ 24(日)教会美化・BBQ(31日予備) 24(日)天使ミサ日英合同ミサ(9:30)	1(金)マリア会例会(懇談会) 10(日)11:00運営委員会 16(土)10:30子ども部屋 17(日)ヨセフ会班長会 17(日)典礼委員会 23(土)要約筆記付きミサ	10(日)世界広報の日・献金日 10(日)インターナショナル・ミサ(南山教会) 14(木)司祭協議会
6月	<b>聖心の月</b> 7(日)キリストの聖体 12(金)イエスのみ心 24(火)洗者聖ヨハネの誕生 29(月)聖ペトロ・パウロ使徒	14(日)典礼奉仕者全体集会 28(日)信者全体集会	5(金)マリア会例会(懇談会) 7(日)11:00 運営委員会 14(日)典礼委員会(全体集会後) 14(日)スカウトバザー 14(日)ヨセフ会班長会 20(土)10:30子ども部屋 27(土)要約筆記付きミサ 28(日)教会学校潮干狩り	25(木)司祭評議会 28(日)聖ペトロ 聖座への献金